

六ヶ所ウラン濃縮工場  
品質保証の実施結果及び  
常設の第三者外部監査機関の監査結果報告書  
(平成23年度上期報告)

六ヶ所ウラン濃縮工場  
品質保証の実施結果及び常設の第三者外部監査機関の監査結果  
(平成23年度上期報告)

I. 品質保証の実施結果

1. 保安活動等の実施

(1) 品質方針の設定、周知

社長は、平成23年度の品質方針を設定し、電子掲示板により全社員に周知した。

(設定・周知は平成22年度下期に実施)

4月6日、「品質保証大会」を開催し、当社社員及び協力会社の社員へ品質方針を再度周知した。

また、東日本大震災を踏まえ、品質方針を4月20日に改正し、4月21日、電子掲示板により全社員に周知した。

改正した品質方針については、品質方針携行カードを当社社員及び協力会社へ配布し、周知した。

(2) 品質目標の設定、周知

(品質保証室)

品質保証室長は、平成23年度の品質目標を設定し、電子掲示板により品質保証室内へ周知した。(設定・周知は平成22年度下期に実施)

また、東日本大震災を踏まえ「教育・訓練の充実」に係る品質目標に関して、中間管理職を対象とした他企業研修の計画を変更した。これに伴い、品質目標を6月13日に改正し、同日、電子掲示板により品質保証室内へ周知した。

更に、「関係法令及び保安規定の遵守」に係る品質目標に関して、品質保証室が制定した文書について保安規定等との関連を確認するための「品質保証室内規程類検討会の開催」を追加した。これに伴い、品質目標を7月25日に改正し、7月26日、電子掲示板により品質保証室内へ周知した。

(濃縮事業部)

濃縮事業部長は、平成23年度の品質目標を設定し、文書等により濃縮事業部内へ周知した。(設定・周知は平成22年度下期に実施)

(3) 社長による評価

(品質保証室)

実施状況：社長は、品質保証室の第1回レビューを7月25日に実施した。

実施結果：第1四半期の保安活動に関する業務などの進捗状況及び品質目標の達成状況に対し「業務は計画に従って適切に実施・評価されており、品質マ

ネジメントシステム及びそのプロセスが適切に機能していることを確認した」と評価された。

なお、今回の主な指示事項として「東日本大震災を踏まえた各事業部の震災対応項目については、内部監査でしっかり確認すること」、「新任役員や新規出向者に対し、当社の品質保証体制について、歴史的な変遷も含めてよく理解してもらうための取り組みを行うこと」があった。

(濃縮事業部)

実施状況：社長は、濃縮事業部の第1回レビューを7月25日に実施した。

実施結果：第1四半期の保安活動に関する業務などの進捗状況及び品質目標の達成状況に対し「業務は計画に従って適切に実施・評価されており、品質マネジメントシステム及びそのプロセスが適切に機能していることを確認した」と評価された。

なお、今回、指示事項はなかった。

(4) 文書及び記録の管理

(品質保証室)

品質保証室長は、「加工施設保安規定」、「品質保証計画書(品質保証室)」及び関連文書(以下、「文書類」という)に従い、所管する業務に関して作成した文書及び記録を管理した。

(濃縮事業部)

濃縮事業部長は、「加工施設保安規定」、「加工施設 品質保証計画書」及び関連文書(以下、「文書類」という)に従い、所管する業務に関して作成した文書及び記録を管理した。

(5) 保安活動の実施

(品質保証室)

品質保証室長は、文書類に従い、品質保証に係る業務を実施した。

(濃縮事業部)

濃縮事業部長は、文書類に従い、加工施設の操作、核燃料物質の管理、保守管理、放射性廃棄物管理、放射線管理、初期消火活動のための体制の整備、非常時の措置及び加工施設の定期的な評価に係る業務を実施したが、加工施設に係る以下の不適合事象(保安規定違反)1件が確認された。

○電子式個人線量計の校正有効期限切れでの使用について

本事象は、放射線管理課長が、7月1日から6日までの4日間、作業員19名に校正有効期限切れの電子式個人線量計を着用させ、管理区域内での作業に従事させていたものである。

本件は、本年7月29日に保安規定違反(監視すべき事項)との判定を受けた。そのため、改善策として「毎月の校正進捗状況確認に使用している年間点検計

画書について、外的要因等により校正計画に変更が生じた場合には、適切な時期に計画を見直すこと」、「毎月の校正進捗状況確認のタイミングとしては、有効期限切れが生じる月の月末に行なうこと」、「当該月末に校正有効期限切れとなる電子式個人線量計等については、識別表示等により使用させない処置を講じること」、「毎月実施している簡易点検において、全ての放射線測定器の有効期限を確認すること」を社内文書に規定し、運用を開始した。

#### (6) 調達

濃縮事業部長は、文書類に従い、調達先の評価を行い、物品及び役務の調達については、調達製品への要求事項を明確にし、調達製品が調達要求事項を満たしていることを確認した。

#### (7) 内部監査

(品質保証室)

実施状況：期間中（上期）の内部監査はなし。（下期に実施予定）

(濃縮事業部)

実施状況：濃縮事業部品質保証課長は、文書類に従い、監査計画に基づいて、各部署に対する内部監査を9月から開始した。

#### (8) 不適合管理

(品質保証室)

期間中（上期）に発生した不適合はなかった。

(濃縮事業部)

濃縮事業部長は、文書類に従い、不適合を確実に識別し、処置及び記録した。

期間中（上期）に発生した不適合の件数：4件

#### (9) 是正処置及び予防処置

(品質保証室)

該当なし。

(濃縮事業部)

濃縮事業部長は、文書類に従い、不適合の再発防止及び発生予防のための処置を行い、これを記録し、実施した活動を評価した。

#### (10) 教育・訓練

濃縮事業部長は、文書類に従い、加工施設の保安活動に従事する者に必要な力量が持てるように、関係法令及び保安規定に関すること、加工施設の構造、性能及び操作に関すること、放射線管理に関すること等について教育・訓練を実施した。

## 2. 協力会社との連携

### (1) 品質保証マネジメント会議

第12回品質保証マネジメント会議を9月13日に開催した。

(議題)

- ・事業の現状と今後について
- ・ヒューマンエラー防止に向けた取組み

### (2) 濃縮事業部と協力会社との連携

濃縮事業部長は、日本原燃安全推進協議会（濃縮事業部）を毎月開催するとともに、安全パトロールを毎月実施し、協力会社との双方向のコミュニケーションを推進した。

## 3. 品質保証に係る顧問会

第17回品質保証に係る顧問会を8月26日に開催した。

(議題)

- ・品質保証活動の実績
- ・再処理事業部でのヒューマンエラー防止への取組みについて
- ・福島第一原子力発電所の事故を踏まえた全交流電源喪失時の訓練について

## 4. 品質保証体制の再構築に向けた取組み

品質保証室長及び濃縮事業部長は、「安全基盤強化に向けた全社アクションプラン」の対策を実施した。

主な対策の実施状況は下記のとおり。

(品質保証室)

平成22年度の安全文化醸成に係るアンケート調査結果について、各室・事業部の課長以上の管理職へ報告を行った。本報告により、管理職に自部署の状況を把握してもらおうとともに、評価結果に対する討議を促し、自部署内での認識を深めてもらうことができた。

(濃縮事業部)

コミュニケーション（事業部連絡会、各部署における課内会議等）の充実、保安教育訓練の確実な実施等について日常業務の中で実施した。

## 5. その他

### (1) 品質保証大会

- ・4月6日に全社員を対象とした「品質保証大会」を開催した。

(参加者：約1,500名 協力会社社員含む)

## II. 常設の第三者外部監査機関の監査結果

実施状況：品質保証室及び濃縮事業部は、ロイド・レジスター・ジャパン（有）による平成23年度第1回定期監査を受けた。（監査実施日：品質保証室7月12日、濃縮事業部7月28日、29日）

監査結果：（総合所見）

総合所見として「指摘事項」は観察されていない。一定レベルの品質マネジメントシステムが機能していると見ることができる」、「安全基盤強化に向けたアクションプランのうち、継続管理項目は一定の成果を得ており、日常活動に移行した項目に現時点で風化兆候はない」、「品質マネジメントシステム一般活動は総じて適切。随所でPDCA展開状況を確認した」との評価を得た。

（品質保証室）

文書監査、実地監査においても「指摘事項」、「観察事項」はなく、業務フローの運用に関する良好事例調査を行っての啓蒙活動について「良好事例を紹介するだけでなく、ほとんど意義のない業務フロー事例の紹介も啓蒙に有効である」など「提言事項」が2件あった。

（濃縮事業部）

文書監査、実地監査においても「指摘事項」、「観察事項」及び「提言事項」とも観察されなかった。

（監査報告書については平成23年9月30日に提出済）

①平成23年度第1回定期監査報告書（全体総括）

（W02714539号-0）（平成23年9月9日ロイド・レジスター・ジャパン（有））

②平成23年度第1回定期監査報告書（その1）「室」部門の監査結果

（W02714539号-1）（平成23年9月9日ロイド・レジスター・ジャパン（有））

③平成23年度第1回定期監査報告書（その3）濃縮事業部の監査結果

（W02714539号-3）（平成23年9月9日ロイド・レジスター・ジャパン（有））

以 上